



1. 特別選抜って何ですか？

大学入試には、「総合型選抜」「学校推薦型」「一般入試」と、分類すればもう少し種類はあるのですが、特に 1・2 年次の皆さんはきちんと理解しているでしょうか？

○総合型選抜⇒大学側が「出会いたい【来て欲しい】学生を発掘する」機会

各大学には大学側の指針でもあり、求める学生像を示す「アドミッションポリシー」があります。その内容を受験者は理解し、志望動機や面接等で、大学での研究内容を踏まえた未来像を具体的に述べる必要があります。総合型選抜では、評定平均【出願時に評定平均の制約はない場合が多い】、面接、資格、小論文等を課す大学が多いですが、口頭試問や学科試験、共通テストを課すことで（基礎）学力もしっかり評価している大学も多いです。最近は関東の私大等で学科試験を課す大学が増えています。

○学校推薦型選抜⇒校長が推薦することで大学に出願可能な入試制度

高校での学業成績や課外活動等の経験が重視され、一定の評定平均がないと出願できません。「指定校推薦」と「公募推薦」があり、調査書・志望理由書等の提出書類、学科試験、面接等で判断されます。

2. 特別選抜入試を活かすなら・・・

現在共通テストを課さない総合型選抜や学校推薦型の合否が出始めましたが、

○特別選抜＝学科試験がない楽な試験

○先生達が指導してくれる（教えてくれる）

なんて思っていないませんか？特別選抜は、**基礎学力が身に付いていることを前提に自分のやりたいことを明確に言語化できる人、**それにつきます。

言語化とは・・・？

- ・特別選抜は面接が必須です。2人～3人（あるいは集団面接で）の初対面の面接官に、自分が何に興味をもち、将来の自分をどのように見据え、そのためにどんな力を身に付けたいのかを語れますか？
- ・特別選抜は小論文が課されます。作文ではありません。自分の意見を論理的に記述できますか？その論理を確立させるための知識はありますか？試験当日、AIは助けてくれません。日々の生活の中で、社会情勢や自分の興味があることに関する情報にアンテナを張っていますか？

今改善できること

・様々な活動に参加していれば、なんとかなると思っていないですか？

「高校生スキルアッププログラム」や「南陵教養講座」の取り組みから、何かを学び取ろうとしている人と残念ながらただ参加している人との差を感じます。

・学習しない習慣（授業終わったら教科書ロッカー内熟成型）が身に付いていませんか？

授業で学んだことを定着させる**努力**をすべきです。わかることが増えれば、もっと知りたい！という学ぶ意欲・知識欲が出てきます。わからないことやもっと知りたいことを時間をかけて学ぼうとしなければ、未知を知にかえることはできません。

・当たり前のことを当たり前にやる（小テスト、定期テスト、課題）ことをやっていますか？

定期テストは日頃の成果を確認する機会です。普段の自分の取り組み方が試されています。授業中の内職、居眠りではなく、どんなことも真剣に取り組んで、自分の可能性を広げておくことが大切なのです。



3 年次の皆さん、特別選抜が終わって、授業中腑抜け状態になっていませんか？居眠りしていませんか？次のステップを考えて行動していますか？どのような結果であろうとも、合格しても不合格でも、次にどのように行動するかで選択肢が変わります。皆さんが特別選抜に向けての準備だけになっている間に、本校の生徒のみならず他の受験生は勉強しているのです。



3. 公務員試験を振り返って

今年度	1次試験合格者	27名	→	2次試験合格者	7名
-----	---------	-----	---	---------	----

注意) 11月20日現在(合格者数は延べ数です。)

今年度4月から公務員試験対策学内講座を実施しました。生徒たちは1次試験に向けて勉強をするきっかけとなったようです。対策講座修了後も公務員指導を行う予備校等に通学して1次試験に臨んだ生徒が多く見られました。その成果が1次試験合格者数に現れました。2次試験に向けては1次試験合格発表後1～2週間という短い期間で面接や作文への対応をしなければなりません。

🧐🧐🧐🧐🧐🧐🧐🧐 公務員志望者の2次試験突破に向けての課題 🧐🧐🧐🧐🧐🧐🧐🧐

1. 夏休みの時間を利用し作文試験や面接練習に取り組む必要がある。→早期対応
2. 日頃から新聞やニュース番組を見るなど世の中の動きを知り、自分の意見をまとめる。
3. 県市町村の公務員を目指す人は、行政がどのような取り組みをしているのか、どんな特徴があるのか、隅々まで調べる。

●進学、就職共に、その場しのぎでの対応で、2次試験を突破し合格するのは難しいのです。

4. 第2回学習状況調査から

10月に1・2年次を対象に第2回学習状況調査が行われました。以下はその抜粋です。

問 平日・休日の自由時間のうち携帯電話・スマートフォン・ゲームの利用時間

平日		休日							
		～1時間	～1.5時間	～2時間	～2時間	～2.5時間	～3時間	～3.5時間	～4時間
1年次	5月	22%	23%	19%	17%	7%	18%	6%	42%
	10月	23%	13%	26%	12%	6%	21%	4%	45%
2年次	5月	24%	22%	16%	14%	5%	27%	3%	42%
	10月	22%	17%	19%	11%	5%	24%	7%	44%



2年次の平日の利用は微減ですが、1年次は2時間超え生徒が一定数見られます。スマホの利用時間を減らし、その時間をもっと有効活用できるといませんか？

問 平日の家庭学習

		ほぼ0	30分未満	～1時間	～1.5時間	～2時間	～2.5時間	～3時間	～3.5時間	～4時間
1年次	5月	28%	30%	27%	8%	6%	1%	1%	0%	1%
	10月	36%	34%	19%	6%	4%	0%	1%	0%	1%
2年次	5月	24%	30%	26%	11%	5%	2%	2%	0%	1%
	10月	24%	25%	28%	12%	7%	1%	3%	0%	1%

問 休日の家庭学習

		ほぼ0	30分未満	～1時間	～1.5時間	～2時間	～2.5時間	～3時間	～3.5時間	～4時間
1年次	5月	14%	17%	31%	11%	16%	5%	6%	1%	2%
	10月	26%	16%	24%	10%	14%	3%	4%	0%	4%
2年次	5月	16%	10%	21%	16%	16%	8%	6%	3%	4%
	10月	12%	13%	17%	11%	14%	7%	8%	8%	8%



- ・平日の学習時間が特に1年次は不足しています。週休日に必要なことだけをやる詰め込み型になっていませんか？日頃の積み重ねは、数学や英語の学力の土台となります。
- ・2年次は休日を上手く活用して勉強し始めた層が増えています。目標を持った友人同士で勉強する環境作りも大切です。